

ヤンマー株式会社様

Company Profile



ヤンマー株式会社
 設立：1912年3月
 資本金：63億円
 従業員数：14,955人

自社で開発・製造しているディーゼルエンジンをはじめとする各種産業用機械は信頼性・耐久性に優れており、1912年の創業以来「一適の燃料も無駄にしない」という精神を体現している。企業キャラクターの「ヤン坊マー坊」は、天気予報番組を通じて広く親しまれている。

次の100年に向けて
変わる、創る、広がる。

Solutioneering Together
 Solution × Engineering = Solutioneering
 お客様の人生をもっと豊かに、
 もっと楽しいものに。

URL: <http://www.yanmar.co.jp/>



CSR部知的財産部
 専任課長
 木下 新一郎 氏

「グループの情報の取り扱い基準に従って、簡単に大容量ファイルが送受信できるようになりました。今では、安心して社外とのやり取りをするためのグループの標準システムとなりました」と導入効果を語る木下氏。

「セキュリティルールを変更することなく、ユーザに使いやすいサービスを提供でき、情報セキュリティ対策の推進に役立っています。地道なセキュリティ委員会活動から実現した案件であり、非常に有意義でした」と導入経緯を振り返る梯上氏。



経営企画本部
 情報システム部
 梯上 貞博 氏

社員からお客様へのファイルの送付、システムからの大容量データの自動送信をオフィス宅ふぁいる便にて実現し、業務を効率化。

ヤンマーでは、ファイル送信について二つの悩みを抱えていた。一つは、システムが定期的に作成する大容量データを決まった相手に送らなければいけないが、手作業で行うのは負荷が大きかった。二つ目は、社員がメールに添付するファイルの扱いで、不要なファイルをうっかり添付したり、誤ったアドレスに送信するリスクをどのようにしてなくすか、ということだった。

この二つの課題をオフィス宅ふぁいる便の導入にて解決し、業務を効率化できた。

導入背景 設計データを暗号化して、社外に安全に送りたい

システムにより大容量の設計データが作成される度に、手作業で指定された宛先に送信していたが、その運用の手間は膨大であった。一方、ヤンマー内のセキュリティ検討部門では、データは暗号化して送付するというルールが制定された。これにより、データの送信をなるべく人手を介さずに自動化し、暗号化したいという要望が一気に高まった。また、営業・管理部門においても、大容量のデータを社外に送りたいという要望があった。しかし、持ち出しファイルの暗号化作業も各社員に委ねられており、ルール制定だけで情報漏洩対策ができるのか、という不安があった。

導入ポイント 宅ふぁいる便の信頼性カスタマイズも可能

当時、フリーの「宅ふぁいる便」には、65万人というユーザ実績に基づく信頼性があった。その上、ブラウザを使った送受信機能に、既存システムとの連携、ファイルの自動暗号化が、カスタマイズにより可能になるということが大きな導入のポイントとなった。また、海外とのやり取りにおいては、オフィス宅ふぁいる便の英語化も一つの決め手となった。

導入効果 大容量データの暗号化と送信の自動化を実現。社員の業務を効率化

既存システムと連携するインターフェースを用意することにより、自動的に大容量のデータを暗号化、送信できるようになった。これにより、それまでは、手作業で暗号化、送信を行っていたが、作業負荷が大きく減少した。あわせて、社員がデータ送信する際には、オフィス宅ふぁいる便を日常的に使用することにより、お客様に安全、確実にファイル送信ができるようになった。数百MBを超えるデータの海外拠点への送信にも使われており、現在ユーザ数は2,000名を超え、社内では「なくてはならない」ツールとなり、「ファイル便」と呼ばれ愛用されている。「重宝しているのは、社内で大容量ファイルをやり取りをする時です。ファイルサーバでは、部門間等のアクセス権の問題がありますし、メールにファイルを添付すると容量がオーバーしてしまいます。その点、オフィス宅ふぁいる便は、対象のファイルだけを容量を気にせずに、送ることができます」と木下氏は、使用後に新たに気づいた活用方法にも満足を示している。また、カスタマイズによりファイルの自動暗号化、個人単位での送信許可リスト機能も実現したため、現在では情報漏洩対策の社内基準もクリアできている。

導入背景

- 大容量のデータ送信を自動化したい
- データを暗号化して安全に送りたい
- 監査ログ・監査機能の装備が必要
- インターネットのフリーのファイル転送サイトの利用を禁止したい

導入ポイント

- 2006年当時65万人という宅ふぁいる便の利用実績があり、信頼性が高かった
- カスタマイズにて既存システムとの連携や暗号化が可能
- 英語版が用意されている

導入効果

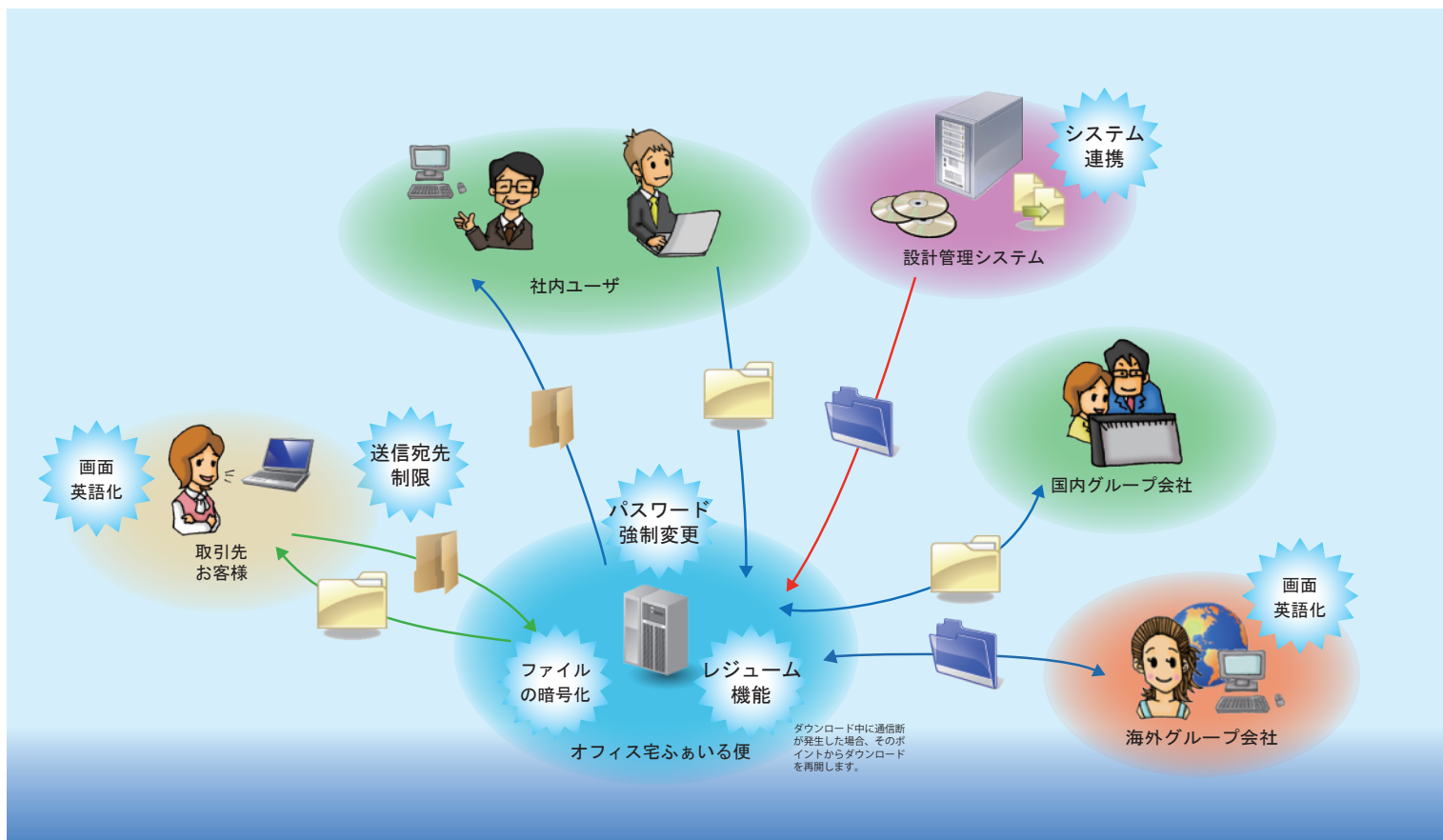
- 大容量データの海外とのやり取りが楽になった
- 自動的に暗号化されることにより、情報漏洩リスクを最小限に抑えることができるようになった
- インターネットのフリーのファイル転送サイトの利用を禁止することができた

今後について

社員がより使いやすい機能をカスタマイズ
グループ企業内でのサービス展開を目指す

ワールドワイドで事業を展開しているヤンマーでは、オフィス宅ふぁいる便を海外でも使用している。そのため、今後は複数言語への対応や送信許可・制限機能の強化とユーザインターフェースの改善を考えており、さらに便利かつ安全なシステムとしてパワーアップを計画している。

YANMAR



**オフィス宅
ふぁいる便
導入メリット**

- 「いつ、誰が、どこに、何を」送ったか送受信履歴を管理できます
- 企業の重要なデータを保証された環境でやり取りをすることができます
- 利用者・送信範囲を限定し、第三者の利用を防ぐことができます

<http://www.ogis-ri.co.jp/>
info@ogis-ri.co.jp

オージス総研

営業企画部 Tel: 03-5440-4771(東京)
052-209-9390(名古屋)
06-6871-8054(大阪)

*記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。
*本文中に記載されている事項の一部または全部を複製、改変することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。
*本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。